

今月の一言 NO.225

キーワード：変わることは進歩である

選手たちを四つのタイプに分けていた。

- 1.天性だけに頼っている選手：生まれ持った才能だけで勝負しようとする
- 2.自己を限定して生きている選手：自分はこのものだ、この程度できればいい
- 3.意気込みだけはある選手：とにかく元気で、気合さえあればなんとかなると信じている選手
- 4.らしく生きる選手：人間らしく生きている選手、プロらしく生きている選手
進歩しない理由：変わる気がない
変わろうとする意欲に欠ける
変わるのを、変えるのを怖がる

山崎が大復活を遂げられたのも、変わったことが大きい。それまでの山崎は、池山や広澤同様、天性と意気込みに頼ったバッティングをしていた。しかし、「もう少し頭を使ってみたらどうだ？」という私のアドバイスを素直に受け入れ、データを活用して配球を読むようになった。ベンチでは私のそばに座り、私のぼやきや指示に耳を傾けた。不振を目前にして変わる勇気を持ったことが、山崎に二冠を与えたといっても過言ではないのだ。

なかなか変わる意思を持たなかった池山と広澤も、あるとき気が付いたのだろう、大きく変わった。池山はトレードマークの「ブンブン丸」を封印し、コンパクトなスイングを心がけるようになったし、やはり大振りをしてホームランを打つ代わりに三振の山も築いていた広澤も、自分が目立つことより、チームが勝つことに喜びを見出すようになった。「おまえ、最近よくなった」久しぶりに会った人に言われることがある。現役時代、長らく私はその意味がわからなかったのだが、ある時気がついた。「そうか、要は“変わった”ということなんだな」「よくなった」とは、裏を返せば「変わった」ということなのだ。「変わること＝進歩」なのである。

このことから、部下が期待より低い結果しか出せないときには、「いまのやり方、考え方ではダメだ。変わる勇気を持て」と言い続けることが大切だと私は思う。

著書：リーダー論覚悟を持って道を示せ 著者：野村克也

今日より明日、1mm 進歩

令和2年9月25日

さいのう とおる

追伸：9月10日還暦を迎え、皆さんからお祝いの言葉や記念の品を頂きありがとうございます。

健康に留意して、これまで以上に変化・進歩していきます！よろしくお願ひします。